

[成果情報名] カキ産地の季節労働者確保に向けた提案

[要約] 産地の季節労働者を確保するにあたり、他県の事例等を参考に、取組の中心となるコーディネーターを配置し、パートナー企業と連携した取組を検討する必要があることを関係機関に提案した。

[キーワード] カキ、労働者、雇用、求人

[担当] 研究企画推進課

[分類] 普及・行政・教育の参考となる技術情報

[背景・目的]

本県はカキの生産量全国第2位で、五條市は県内最大の産地である。しかし、農家数の減少や高齢化が進んでおり、カキ産地を維持するため労働力の確保が重要となっている。

そこで、課題解決に向け各調査を実施し、労働者確保に有効と思われる方策を検討し、関係機関に提案する。

[成果の内容・特徴]

1. 県内産地の雇用労働力実態調査

- ・JAならけん西吉野柿部会員を対象にアンケート調査を実施し、以下の結果が得られた（40名に配布、30名から回答）。
- ・労働力が不足しており、1戸あたり平均3.5名の季節労働者が必要（データ省略）
- ・労働力の欲しい時期は、主に5月の摘蕾、10月の収穫時期（図1）
- ・現状、労働者の多くは産地近隣から通勤（データ省略）

2. 労働力支援機関調査

1) JAにしようわ

- ・愛媛県のみかん産地で、季節労働者の確保について先進的に取り組んでいるJAにしようわで聞き取り調査を実施した。
- ・JAにしようわは、求人サイトを活用し、全国から労働者を募集している（図2）。
- ・市が労働者の宿泊施設を改修し、JAにしようわが運営（図2）
- ・農家ホームステイを展開し、就農を見据えた取組を地域一体となり実施（図2）

2) JA全農おおいた

- ・大分県の各野菜産地で労働力の確保について先進的に取り組んでいるJA全農おおいたで聞き取り調査を実施した。
- ・JA全農おおいたは、労働力支援を円滑に推進するためパートナー企業と連携（図3）
- ・当該企業は土木業を営み、作業員が高齢化しつつある中で、作業員にとって新規で取り組める事業を検討していたところ、パートナー企業の募集があった。
- ・県内で労働者を募集し、パートナー企業のもとへ集合させ、現場へ送迎している。
- ・農業現場は、大分市から車で約1時間～1時間半に位置

3) ハローワーク下市

- ・カキ産地を管轄するハローワーク下市へ求職状況の聞き取り調査を実施した。
- ・1月から4月は、求職申込件数が多い（データ省略）。
- ・2022年4月の新規求職申込者の年齢層は65歳以上が最も多く、45～49歳で女性の割合が最も高い（図4）ことから、パートタイムでも働きやすい雇用条件が重要。
- ・募集条件にフルタイム以外で「午前みの勤務可」なども記載しては、とハローワークより意見があった。
- ・聞き取り調査時、求人を募集している柿農家は49戸であり、西吉野柿部会に256名、五條柿部会に163名が所属していることから、さらにハローワークを活用する余地があるのではないかと考えられた。

3. 関係機関への提案

これらの結果を踏まえ、カキ産地において季節労働者確保に有効と考えられる方策を検討し、関係機関（県、市、JA、農業者）に取組内容を提案した（図5）。例えば、パートナー企業が果たす機能として、作業内容に応じた労働力調整、労働者に対する安全管理、労働者の募集に関する能力を有していることが挙げられた。

[成果の活用面・留意点]

1. 提案の実現に向けて

今回の提案に関して実現するためには、まずは取組の中心となるコーディネーター役を決めることが重要な条件の一つであると考えられる。

[具体的データ]

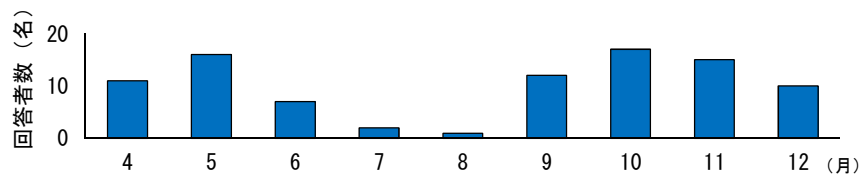


図1 季節労働者を必要とする時期

n=30・複数回答、1~3月の回答は無し

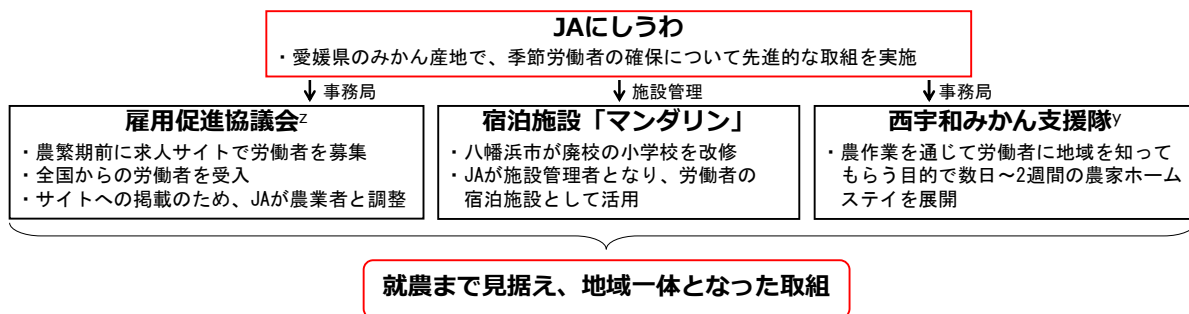


図2 JAにしようにおける労働力確保の取組概要

聞き取り調査より作成

※共選役員、労働者受入農家、愛媛県、八幡浜市、西予市、伊方町およびJAにしよう（事務局）で構成され、県内に6つある

※愛媛県、八幡浜市、西予市、伊方町およびJAにしよう（事務局）で構成

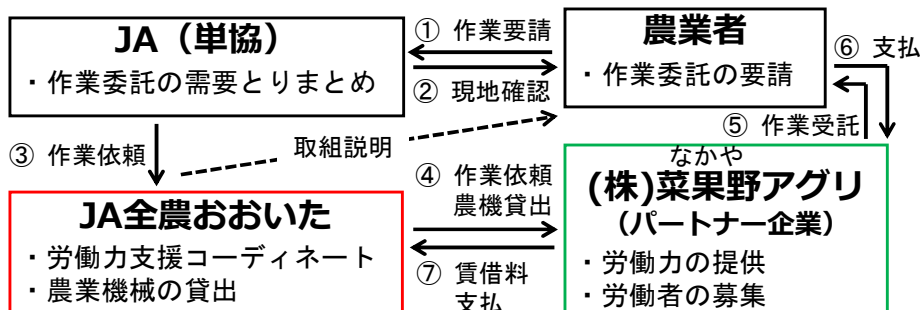


図3 JA全農おおいたにおける労働力支援の概要

聞き取り調査より作成

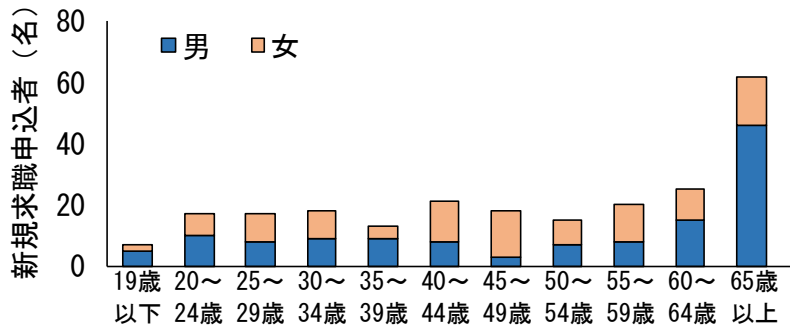


図4 1市2町²における新規求職申込者の年齢層および性別 (2022年4月)

聞き取り調査より作成

²五條市、大淀町および吉野町の合計

求人方法の検討・改善

- 現状 人口の多い都市から車で約1時間～1時間半にカキ産地が位置
→県内や大阪府在住者にアプローチする方法を検討
- ・ハローワークの活用推進
 - ・求職者目線の「働きやすい」と感じる募集内容に改善

労働者の受入体制づくり

- ・取組の中心となるコーディネーターを配置
(コーディネーターに求められる能力)
課題を理解し、各機関と協調性を持って連携を図ることができる
課題解決に向け、各機関と目標を共有し、達成状況の管理および評価ができる
- ・労働者の管理に長けたパートナー企業を検索
(パートナー企業に求められる能力)
現場でのリーダーシップ性および安全管理能力を有する
労働者用の送迎手配および出退勤に合わせた運行管理ができる
現金日払い、勤務時間・日数の相談可など労働者が応募しやすい条件に工夫ができる
隣県との繋がりがあり、労働力が過不足の際は労働者を融通できる関係がある
- ・労働者の受入体制を構築
- ・働きやすい環境づくり、就農を見据えた農家ホームステイなど検討

図5 カキ産地の季節労働者確保に向けた取組

[その他]

研究課題名：カキ産地を中心とする季節雇用者に向けた調査

予算区分・研究期間：県単・2021年～2022年

研究担当者：長城利彦

発表誌等：奈良県農業研究開発センター研究報告第54号